



P 2…第 1 回 倶知安町社会福祉大会
第 4 回 全町ふれあいサロン

P 3…第 3 回 いただきますの会
倶知安町手話奉仕員養成講座 閉講式

P 4…全国防犯協会銀賞受章
赤い羽根共同募金

P 5…町老連役員・女性部会役員合同研修
秋季道内研修旅行

P 6…倶知安町身体障害者福祉協会
給食サービス事業のご案内

P 7…倶知安町社会福祉協議会会員募集

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、よき新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

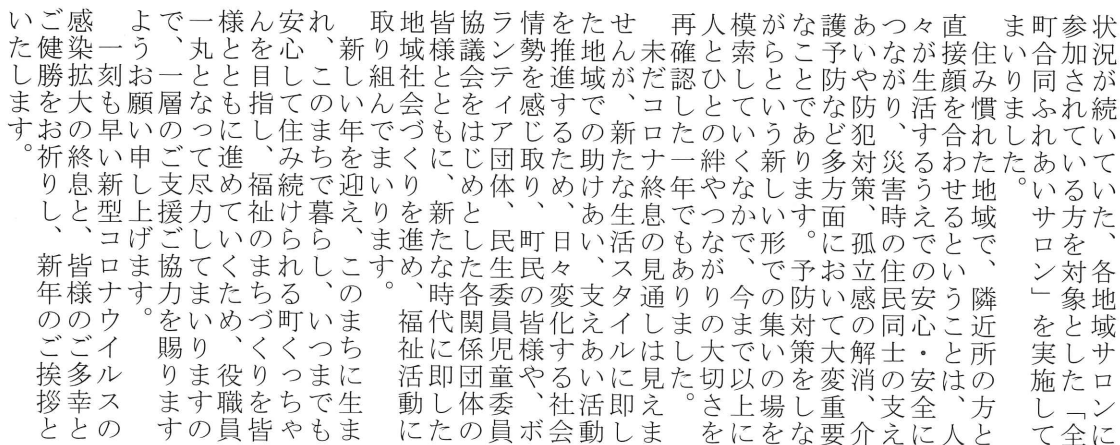
また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方々には、心よりお見舞い申し上げます。

旧年中は、本会の事業推進にあたたかいご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今、地域を取り巻く環境が大きく変化し、子育てに悩む方、児童や高齢者の虐待、地域の孤立、生活困窮世帯の増加など地域が抱える課題が複雑化、深刻化しています。それに加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長期にわたり人とひととの関わりが制限され、コロナ禍以前から課題とされてきた地域住民同士のつながりの希薄化に拍車がかかってしまいました。

そのような状況のなか、長期化するコロナ禍の生活を見据え、新型コロナウイルスとのかの共存・共生という意味で、ウィズコロナ、という言葉が当たり前のように使われるようになり、予防対策をとりながら、少しずつ地域の集まりごとや行事が再開しはじめたところです。

社会福祉協議会でも、昨年からは、コロナ禍で拍車がかかった孤立感の解消やボランティアの育成を目的として、町内のサービスマスター等を利用して、いない高齢者を対象とした「いただきますの会」やコロナ禍での開催が難しく会員同士もなかなか会えない



第1回倶知安町社会福祉大会を開催しました

第1回倶知安町社会福祉大会 絆～人と人とのつながり～と題し、10月1日（土）倶知安町文化福祉センターにて開催致しました。「ともに支え合う、安心、安全な福祉のまちづくり」を一人ひとりが作り上げていく事を目的とし、顕彰事業と映画上映会を行いました。

顕彰事業では、本会会長表彰を執り行い、本会へ高額寄付を行っていただいた2名の方に感謝状の授与を行いました。また、北海道社会福祉協議会会長顕彰の伝達を執り行い、民生委員・児童委員から1名、社会福祉事業協力者として長年にわたり給食サービスボランティアに携わられた3名の方に本会会長から表彰状が伝達されました。

映画上映会では、『長いお別れ』（2019年公開作品）の上映を行い、厳格な父が認知症と診断され、妻や娘は様々な現実と直面して記憶を失っていく父と家族が過ごした7年間の日々をユーモアを交えながらあたたかに描かれた作品に参加された皆さまは真剣な様子で鑑賞されていました。

表彰者

- ・ 倶知安町社会福祉協議会
会長表彰 会長感謝状(高額寄付)
旭 克久様
川上いく子様
- ・ 北海道社会福祉協議会会長顕彰
民生委員・児童委員
藤井 秀樹様
社会福祉事業協力者(労力的援助)
永峰 實様
鈴木ちた子様
名古屋裕子様



第4回全町ふれあいサロン開催

9月14日（水）に保健福祉会館で4回目の全町ふれあいサロンを開催しました。

今回は、小樽市にあります医療法人社団一視同仁会はびりすから施設長 加藤葉月様を講師にお招きし、「健康寿命の先延ばし ～体も頭も心も元気でいよう～」をテーマに、健康寿命や体の事についての勉強と足腰を衰えさせない様にする為の運動等を行いました。頭を使いながらの運動には皆さん苦戦していたようですが、時に笑いが起き、考えながら身体を動かすということは、脳の活性化にも繋がる事を学び、最後は「365歩のマーチ」に合わせて3分間の全身体操を行いました。曲の間に色々な動作が入っている為、一心不乱に講師の動作に合わせて息が上がりながらも気持ちよく体操をされておりました。今回のサロンで学んだ運動を自宅でもしていただき、フレイル予防に繋げて「健康なからだ」と「脳を使う生活」を合言葉に生涯現役で自分の役割を持ち続ける事が、なによりのアンチエイジング（抗加齢）だということを忘れずに、健康寿命を延ばし、楽しく元気に過ごしていただければと思います。

また、最後にこれからも元気にお過ごしいただきたいという想いを込めて、敬老ならぬ“慶朗”のエールを職員から送り、会場全体で三・三・七拍子を行い、大いに盛り上がりました。



聞いて 学んで 食べて みんなで「いただきます」（いただきますの会）

今回で3回目となります「いただきますの会」。11月9日（水）に保健福祉会館で開催しました。11月9日は119番の日ですが、これにちなんで倶知安消防署から救急係 辻 英志様をお招きし、「困ったときの119番」の演題でお話をいただきました。「困ったときはためらわずに119番にかけてください。」との話がありました。そして、訓練ではありますが、参加者から1名代表で実際に119番に電話をし、「火事か救急か」、「出動する住所」、「現在の状況」等を聞かれ、慌てずに伝えるという訓練ができました。ほとんどの人が119番はかけたことはないと思いますので、どういことを聞かれるのかわかり、とても貴重な体験ができたのではないかと思います。

また、倶知安警察署から生活安全課 田村 智様より特殊詐欺についてのお話がありました。非常に速いペースで昨年度の被害件数、被害額を上回っているとの話をされ、自分は絶対に詐欺には騙されないと過信せず、何か怪しいと思う事があればすぐに警察に連絡をするようにとの話がありました。

さて、メインである今回の食事ですが、白飯、タラ汁、玉子の巾着煮、かぼちゃの煮つけ等々で、皆さんお話をしながら楽しく召し上がっておいりました。

まだまだコロナ禍は続いていますが、感染予防を行いながら少しでも家を出て健康的に過ごすことができるよう、今後も色々な行事を開催していきたいと思いますので、皆さまのご参加お待ちしております。



倶知安町手話奉仕員養成講座 基礎課程Ⅰの閉講式を行いました

11月22日（火）に倶知安町保健福祉会館にて倶知安町手話奉仕員養成講座（基礎課程Ⅰ）の閉講式が行われました。

4月12日（火）の開講式から31回の講座・講義を受け、閉講式では皆勤2名、精勤4名の計6名の受講生に倶知安町長から修了証が授与されました。また、出席された受講生お一人ずつから1年を振り返った内容を手話で表現していただきました。

受講者の皆さま、本当にお疲れ様でした。

倶知安町では、来年度も手話奉仕員養成講座の基礎課程Ⅱを開講予定としています。詳細が決まり次第、町広報等にてご案内いたします。



菊地芳文氏 全国防犯協会銀賞受章（倶知安町防犯協会）

本会副会長の菊地芳文氏がこの度、警察庁長官・全国防犯協会連合会連盟の防犯栄誉銀賞を受章されました。菊地氏は平成元年から防犯推進員として活動을續けており、30年以上にわたり、子どもからお年寄りまで誰もが安心して生活できるまちづくりに貢献してきました。

去る11月2日に倶知安警察署において表彰伝達式が行われ、斉藤之則倶知安警察署長より賞状と記念品が手渡されました。

菊地氏は「これからもまちの安全、地域の安全のために尽力して行きたい」と今後の抱負を力強く述べられました。



赤い羽根共同募金の興行募金活動並びに街頭啓発募金活動を行いました

倶知安町共同募金委員会（伊達隆会長）では、10月1日（土）に第1回倶知安町社会福祉大会の会場で興行募金活動を行いました。本会では、初めての興行募金活動の取り組みとなりましたが、大会へご参加いただきました皆さまのご協力による募金額の合計は、7,323円となりました。併せて倶知安町のオリジナルピンバッジの頒布も行い、1個500円以上の募金協力にて27個の進呈を行いました。

また、10月3日（月）には町内のスーパー店舗前等で街頭啓発募金活動を1日の日程で行いました。

今年度は、例年になく暖かい天候の下での街頭啓発募金活動となり、様々な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施しました。

寄付にご協力をしていただいた皆さまをはじめ、募金活動にご協力いただいた各関係機関並びに各団体の皆さまのご尽力により、今年度の街頭啓発募金活動による募金額の合計は、106,818円と目標額の100,000円を超える事ができました。

各地域や町内会、学校や職場等に於いて赤い羽根共同募金活動にご協力していただいた皆さまに対し、心から深くお礼を申し上げるとともに赤い羽根共同募金へのご理解とご協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。



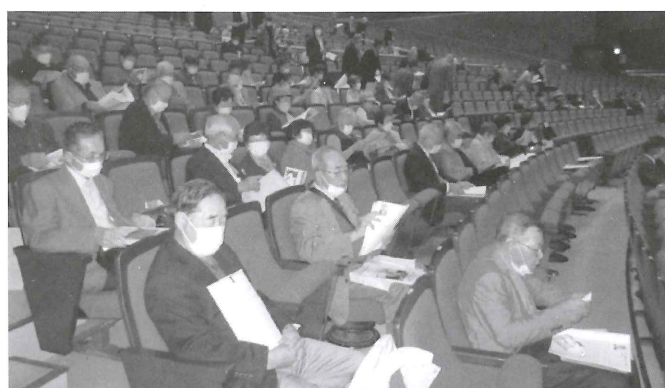
町老連役員・女性部会役員合同研修を行いました

倶知安町老人クラブ連合会（梶本敏雄会長）では、10月7日（金）に町老連役員・女性部会役員合同研修を行い、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりに開催された第57回全道老人クラブ大会に町老連・女性部会役員16名で千歳市の千歳市民文化センターに行ってきました。

今大会の記念講演の講師は、有限会社ライフアート（札幌市）グループホーム福寿荘総合施設長の武田純子様による『人生100年時代を生きる』と題して、認知症ケアの変遷や認知症疾患の特徴等についての講演が行われました。

また、閉会式終了後のお楽しみ抽選会では、本会から2名の方が見事当選されました。

なお、大会終了後には、道の駅サーモンパーク千歳にてお買い物も楽しまれ、往復間の車中では久しぶりの再会に会話も弾んでいる様子でした。



秋季道内研修旅行に行ってきました

倶知安町老人クラブ連合会（梶本敏雄会長）では、11月10日（木）～11日（金）に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3年振りの実施となりました秋季道内研修旅行に単位クラブ会員46名のご参加をいただき、洞爺湖町の洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラスへ1泊2日の日程で行ってきました。

毎回実施している研修会の今年度の講師につきましては、株式会社シーラボ（札幌市）代表取締役の杉田恵子様をお迎えし、『人生100年時代の足づくり～靴選びから見直そう～』と題して、理学療法士として従事された経験をもとに靴の選び方等の説明、足指・足首の運動やストレッチ等の実技も交えながら身近な内容を大変わかりやすく説明していただき、参加された会員の皆さまは、真剣な様子で研修に参加されておりました。

また、研修会終了後には懇親会を行い、コロナ禍で普段なかなかお会いする事ができなかった他の単位クラブ会員との久しぶりの再会を食事やカラオケを交えながら楽しい時間を過ごす事ができました。



倶知安町身体障害者福祉協会 ～こんなことやってます！！～

新型コロナウイルスの影響により中止となっていた行事が少しずつ再開し、町協会の事業も動き始め、パークゴルフ大会をはじめ、視察研修旅行を行うことができました。また、後志の各種大会も行われ、10月には真狩村で第57回後志身体障害者福祉大会が開催され、長年にわたり協会の活動に尽力された佐々木栄会長と千葉智理事の2名が表彰されました。また、ニセコ町では羊蹄山麓の協会が集まり、研修や町村同士の交流を深めるブロック研修会も行われ、久しぶりに顔を会わす他町村会員の仲間たちと交流を深めることができました。

倶知安町身体障害者福祉協会では、会の趣旨に賛同し一緒に活動してくれる会員を募集しています。パークゴルフ大会や各種スポーツ大会に参加して仲間とともに心身の活性化を図り、視察研修や社会福祉大会等、各種行事や大会に参加しながら和気あいあいと活動、交流を深めています。

興味のある方は、是非とも事務局（TEL22-4150）までお気軽にお問い合わせください。

- 加入対象・・・町内にお住いの身体障害者手帳をお持ちの方、そのご家族の方
- 年会費・・・1,500円
- 主な事業・・・視察研修旅行、福祉大会、スポーツ大会、パークゴルフ大会
新年会員交流事業等

どれも会員同士がふれあいながら、お互いに助け合い、支え合いながら社会参加をしています。



給食サービス事業をご存じですか？

給食サービス事業とは、主に一人暮らしのご高齢の方や身体の不自由な方等を対象に食事のサポートや安否の確認も兼ねて毎週火曜日と金曜日（祝日は除く）の午後3時から4時30分の間に給食ボランティアのご協力によりご自宅へとお弁当をお届けしています。

料金は、介護保険料の段階区分によって変わりますが、1食330円から500円となっております。

倶知安町社会福祉協議会では、給食サービス事業の利用者を募集しております。興味がある方は、お気軽に倶知安町社会福祉協議会（TEL22-4150）までご連絡、ご相談ください。

俱知安町社会福祉協議会 会員募集について



社会福祉協議会は地域の皆様に支えられた民間の団体です。皆さまが安心して暮らせる町を目指し地域福祉の推進に取り組んでいます。俱知安町社会福祉協議会に御加入いただいた会員様の会費は、地域の皆さまと協力して行っている「地域住民総参加の地域福祉活動」を進める為に活用させていただいております。

今後とも俱知安町社会福祉協議会の活動へ一層のご理解をいただき、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、社会福祉協議会の会員募集について、各町内会・自治会長様はじめ、関係団体の皆様にはご多忙中のところ社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、会員の募集方についてご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

社協会員には3種類あります。

- ①一般世帯及び一般世帯で構成する町内会単位を対象とした一口500円(2口以上)・・・一般会員
- ②会社・事業所・篤志家を対象とした一口1,000円(3口以上)・・・賛助会員
- ③福祉施設・関係団体・機関を対象とした一口3,000円・・・特別会員

令和4年度社協会員加入者名簿一覧(敬称略)

個人名については、町内会ごとに希望された場合に掲載させていただきます。

賛助・特別会員の企業、会社や団体など、個人以外につきましては従来通り掲載させていただきます。

◎ 会員の個人情報、社会福祉協議会の運営並びに事業を円滑に推進するために適切かつ慎重に取り扱い、会員の管理並びに会員募集のために利用させていただきます。

◆一般会員(令和4年10月より12月まで)

会 員 名	口数	会 員 名	口数	会 員 名	口数	会 員 名	口数
◎巽自治振興会		◎峠下振興会		◎東一丁目会	10	水根徹	2
梶本俊一	2	坂本幸	2			菅原耕久	2
梶本敏雄	6	山岸市雄	2	◎西一丁目会		樋口一利	2
藤田孝和	6	古谷和之	2	田中勝正	2	佐藤知秀	2
宮本成行	2	小野義則	2	駒形俊春	2	西野隆志	2
風間善正	2	渡部一実	2	林勇	2	一宮建設(株)	4
川崎俊治	2	綿谷福二	2	綾部和子	2	○K喫茶	2
(株)八百一の郷	2	高橋勇作	2	三宅春光	2	門馬勝雄	2
梶本治	2	綿谷技工	2	小見弘	2	西勝照平	2
		古谷征宗	2	高橋和樹	2	美容室COCO	2
◎南三条会		佐川知也	2	前安井匠	2	今野勝子	2
宇田秀昭	2			古谷眞司	2	堀越和子	2
渡辺信也	2	◎北光親和会	32	古谷博	2	佐藤嵩登	2
佐藤仁一	2			堀敏久	2		
富樫順子	2	◎樺山町内会	60	河本春吉	2	◎八幡東	
脇山忠	2			荒野保	2	青柳圭太	2
滝口和也	2	◎中央九号会	11	鈴木大祐	2	藤井太武	2
あおやま商店	2			荒竹孝夫	2	高山靖章	2
佐々木智壽子	2	◎東陽振興会	78	渡辺晋	2	福坂茂	2
青木輝樹	2			神保京子	2	多田泰則	2
遊佐タケ子	2	◎七栄振興会	87	荒井健治	2	中澤博美	2
藤本澄子	2			高橋優一	2	伊藤外吉	2
		◎八幡町内会	24	高千坂昭一	2	大元喜和子	2

会 員 名	口数	会 員 名	口数	会 員 名	口数	会 員 名	口数
小 山 隆	2	篠 原 和 幸	2	佐々木 幸 夫	2	小 黒 利 夫	2
小 山 秀 之	2	石 田 祥 二	2			柏 木 秀 美	1
青 柳 雄 三	2	斉 藤 泰 治	2	◎瑞 穂 二		八 重 樫 一 郎	2
石 山 堅 一	2	篠 原 修	2	三 好 昭 範	2	水 口 汪	2
大 元 晴 雄	2	佐々木 恵美子	2	三 好 民 義	2	水 口 清	2
◎八 幡 西		◎八 幡 和		村 元 剛	2	三 島 和 夫	2
上 野 正 典	2	岡 浩 充	2	三 好 紳 仁	2	島 下 辰 也	1
田 村 陽 介	2	岡 康 史	2	加 藤 征 弘	2	三 島 サチ子	2
高 田 正 博	2	海 原 一	2	林 善 吉	2	三 島 義 広	2
勝 浦 綾 一	2	佐 藤 秀 夫	2	野 村 廣 志	2	水 口 渉	2
林 正 幸	2	高 山 和 男	2	蒔 田 久 法	2	名 畑 喜久子	1
篠 原 裕 史	2	高 山 秀 夫	2	猪 瀬 剛 平	2	山 田 亮 樹	1
真 田 政 彦	2	千 葉 和 則	2	赤 石 愛 子	2	筒 井 裕 樹	1
三 島 雅 範	2	(有)原 田 産 業	2	◎旭 会			
大 西 友 子	2	三 木 道 晴	2	坂 常 雄	2		

ご自宅で眠っている未使用の文房具はありませんか？

俱知安町社会福祉協議会では、ご自宅で使わずに眠っている未使用の文房具を探しています。

なお、この文房具につきましては、勉強をしたくても何らかの理由により満足に文房具を購入することが難しいお子様を持つご家庭等への配布を考えておりますので、鉛筆やノート、色鉛筆や絵の具等といった文房具がございましたら、社会福祉協議会へご寄付いただければと思いますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

ご寄付ありがとうございます

ご寄付は、それぞれの意志により、恵まれない人や努力しながらも暮らしに困る人々のため、また、地域福祉の発展向上のため活用されます。

●社会福祉事業資金は、各種社会福祉事業の実施、運営のために活用させていただきます。

●ボランティアセンターへのご寄付は、次のようになっています。

・指定寄付・・・福祉施設や団体等への使用目的を指定するご寄付は本会でもお受けしています。

本会が責任をもって指定された施設・団体等へお届けいたします。

・物 品・・・まだ使える衣類(洗濯済みのもの)や食器・家電などの日用品は、努力しながらも恵まれない方々に配分しています。年末に行っている歳末物資配分でも活用しています。

金銭のご寄付には、「寄付金控除」が受けられる領収書を発行し、金銭・物品ともに御礼状を出させていただきます。

次の方々よりご寄付をいただきました。皆様の温かいご篤志に対して厚くお礼申し上げます。

(令和4年10月より令和4年12月まで・敬称略)

岡本 正	佐々木幸子	森田 牧子	石垣幸枝子	石川 雄治	工藤キヨ子
小松 孝好	有原 信子	山岸 久二	石井 美子	澤田 カヨ	大友 静子
山田 英男	佐藤 利治	宮武 悟視	中多まゆみ	小笠原カチ子	安達 晃
中村 光子	遠藤 淳子	野呂 章子	多田美佐子	(元)俱知安女性の会	

ボランティアセンターへご寄付ありがとうございます。(敬称略)

◎金 品 山岸 久二 (指定寄付)

◎物 品 青柳 昌江 箱ティッシュ10箱 川崎 哲 衣類等4箱

◎社会福祉の推進を図るため、ご寄付をいただいた方の氏名を掲載させていただいております。掲載を希望されない場合はあらかじめお申出下さい。